

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第16週の発生動向

□ 沖縄県で麻しんが流行しています

沖縄県では、3月23日に麻しん患者が発生し、4月24日までに70名の患者が確認されています。さらに、沖縄を旅行された名古屋市の男性も麻しんを発症しています。現在までに宮崎県での患者の届出はありませんが、沖縄県や海外も含めた麻しんの流行地から帰ってきたら、2週間程度は健康状態に注意し、麻しんを疑う症状（発熱や発疹など）が現れた場合、必ず事前に医療機関に連絡の上、速やかに受診してください。また、沖縄や海外などへの旅行を予定されている方は、まず予防接種歴を確認し、2回接種ができていない方は早めの接種を検討してください。

□ 全数報告の感染症（16週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例、播種性クリプトコックス症 1 例、百日咳 10 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80 歳代	女	結核性リンパ節炎	頸部リンパ節腫脹
		都城	90 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
		中央	50 歳代	男	疑似症患者	咳、発熱、呼吸困難
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	70 歳代	男	—	発熱、意識障害、ショック、肺炎、菌血症
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	70 歳代	女	—	頭痛、発熱
	百日咳	宮崎市	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		日南	5~9歳	女	—	持続する咳、嘔吐
			10 歳代	男	—	持続する咳
			10 歳代	女	—	持続する咳
		高鍋	10 歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ、嘔吐
			10 歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、ウーブ
			10 歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ
			10 歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
10 歳代	男		—	持続する咳、夜間の咳き込み		
10 歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ、嘔吐			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

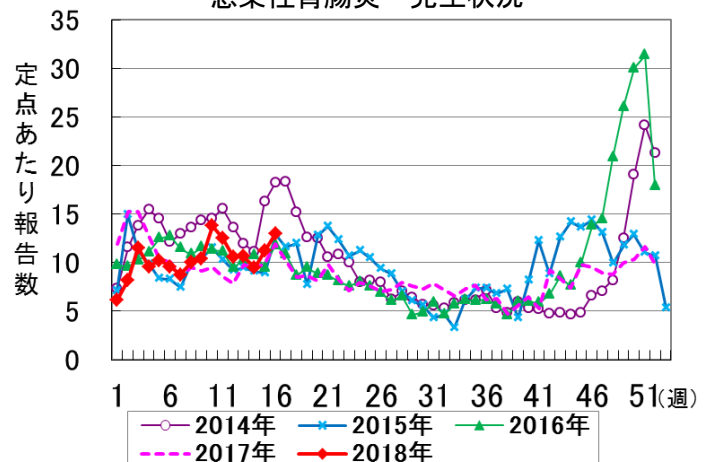
・定点医療機関からの報告総数は 971 人(定点当たり 28.1)で、前週比 115%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

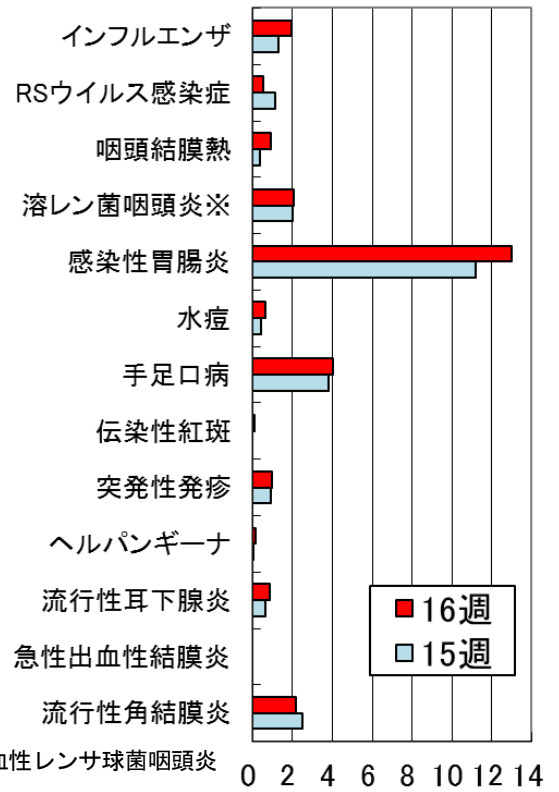
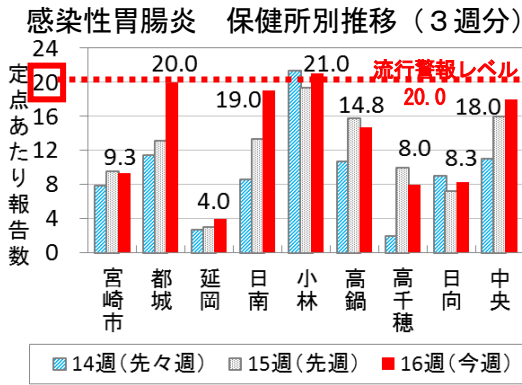
【感染性胃腸炎】

報告数は 467 人(13.0)で、前週比 116%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(12.1)の約 1.1 倍である。小林(21.0)、都城(20.0)、日南(19.0)、中央(18.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1~2 歳が全体の約 3 割を占めている。

感染性胃腸炎 発生状況



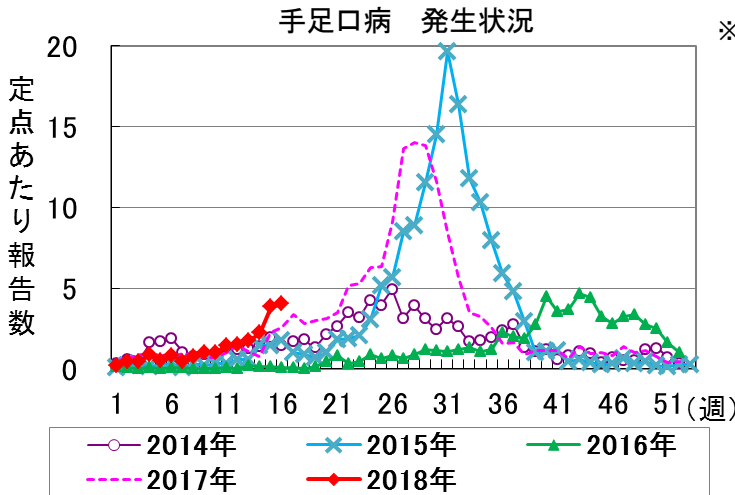
《前週との比較》



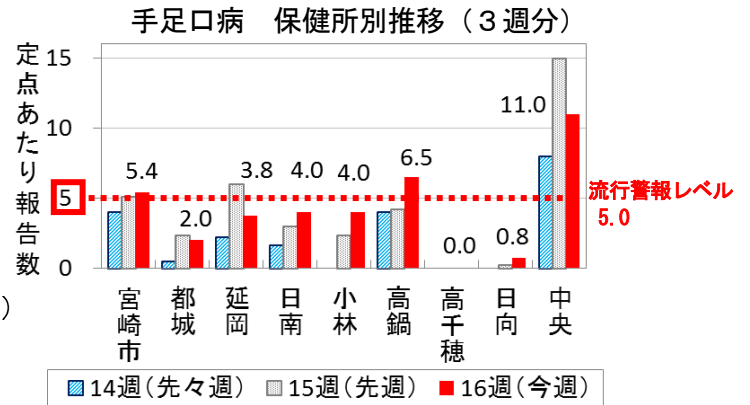
【手足口病】

報告数は145人(4.0)で、前週比105%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(1.2)の約3.3倍である。中央(11.0)、高鍋(6.5)、宮崎市(5.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~4歳が全体の8割以上を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○細菌性髄膜炎：日南保健所から1例報告があった。5~9歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は4例で、日向(3例)、延岡(1例)保健所からの報告であった。いずれも5歳未満である。なお、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(5.4)
都城	感染性胃腸炎(20.0)
延岡	なし
日南	流行性耳下腺炎(9.0)
小林	感染性胃腸炎(21.0)
高鍋	手足口病(6.5)
高千穂	なし
日向	なし
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)、 手足口病(11.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成30年4月23日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	5～9歳	女	2018.04.14		咽頭ぬぐい液	2018.04.03

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
インフルエンザウイルスB（山形系統）	10歳代	女	2018.01.31	インフルエンザB型、39.9℃、関節痛、下気道炎（気管支炎）、上気道炎（咽頭炎、咽頭痛）	鼻汁	2018.04.17
インフルエンザウイルスB（山形系統）	10歳代	男	2018.01.31	インフルエンザB型、39.0℃	咽頭ぬぐい液	2018.04.17
インフルエンザウイルスB（山形系統）	30歳代	男	2018.02.01	インフルエンザB型、39.0℃、頭痛、下気道炎（気管支炎）、上気道炎（咽頭炎、咽頭痛）	鼻汁	2018.04.17
インフルエンザウイルスB（山形系統）	50歳代	女	2018.02.05	インフルエンザB型、38.0℃、頭痛、関節痛、上気道炎（咽頭痛）	鼻汁	2018.04.17
インフルエンザウイルスB（山形系統）	5～9歳	女	2018.02.20	インフルエンザB型、38.8℃、下気道炎（気管支炎）	咽頭ぬぐい液	2018.04.17
インフルエンザウイルスB（山形系統）	10歳代	男	2018.02.21	インフルエンザB型、38.2℃、胃腸炎（下痢）	鼻汁	2018.04.17
インフルエンザウイルスB（山形系統）	20歳代	男	2018.02.22	インフルエンザB型、39.4℃、下気道炎（気管支炎）、上気道炎（咽頭痛）、頭痛、関節痛	鼻汁	2018.04.17
インフルエンザウイルスAH3	1～4歳	男	2018.02.22	インフルエンザA型、40.3℃、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2018.04.17
ヒトコロナウイルス229E インフルエンザウイルスAH3（再掲）	5～9歳	男	2018.03.05	40.0℃、上気道炎、下気道炎（気管支炎）	鼻汁	2018.04.17 2018.04.05

○呼吸器症状のある小児からヒトコロナウイルス 229E が（HCoV229E）が検出された。HCoV229E は全国的にも報告数が少なく、当所でも検出されたのは初めてである。上気道炎の約15%はHCoVが原因とされており、咳、鼻水などの感冒様症状を起こすことが多いが、急性中耳炎や下気道炎を起こすこともあるので注意が必要である。

🇯🇵 全国 2018 年第 15 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第15週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	296 例			
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	13 例	
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	14 例	重症熱性血小板減少症候群 1 例
	つつが虫病	2 例	日本紅斑熱	1 例	マラリア 1 例
5類感染症	レジオネラ症	10 例			
	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 25 例
	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 16 例
	後天性免疫不全症候群	10 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 8 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	51 例	水痘（入院例）	6 例	梅毒 89 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例	百日咳 40 例
	風しん	2 例	麻しん	18 例	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比107%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は水痘である。

RSウイルス感染症の報告数は1,279人(0.4)で前週比125%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.2)の約2.0倍である。沖縄県(1.8)、新潟県(1.2)、宮崎県(1.1)からの報告が多く、年齢群別では1歳以下が全体の約8割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

● 次回の感染症週報は祝日の関係上、5月10日発行となります。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第16週(04月16日～04月22日)

疾病名		第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	78	116	51	9	24	2	11			10	9
	定点あたり	1.32	1.97	3.19	0.90	3.43	0.40	2.20	0.00	0.00	1.67	4.50
RSウイルス 感染症	報告数	40	20	8	2	4	1		1		4	
	定点あたり	1.11	0.56	0.80	0.33	1.00	0.33	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	33	12	2	5	4	2	6		2	
	定点あたり	0.36	0.92	1.20	0.33	1.25	1.33	0.67	1.50	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	72	74	23	12	7	8		5	3	6	10
	定点あたり	2.00	2.06	2.30	2.00	1.75	2.67	0.00	1.25	3.00	1.50	10.00
感染性胃腸炎	報告数	403	467	93	120	16	57	63	59	8	33	18
	定点あたり	11.19	12.97	9.30	20.00	4.00	19.00	21.00	14.75	8.00	8.25	18.00
水痘	報告数	15	24	8	3	3		9	1			
	定点あたり	0.42	0.67	0.80	0.50	0.75	0.00	3.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	138	145	54	12	15	12	12	26		3	11
	定点あたり	3.83	4.03	5.40	2.00	3.75	4.00	4.00	6.50	0.00	0.75	11.00
伝染性紅斑	報告数		3	2					1			
	定点あたり	0.00	0.08	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	35	9	7	7	3	3	3		2	1
	定点あたり	0.92	0.97	0.90	1.17	1.75	1.00	1.00	0.75	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	5			2	3					
	定点あたり	0.03	0.14	0.00	0.00	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	24	31		1	2	27				1	
	定点あたり	0.67	0.86	0.00	0.17	0.50	9.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	13	12		1						
	定点あたり	2.50	2.17	4.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数		1					1				
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1	4			1					3	
	定点あたり	0.14	0.57	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		3.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～16週)

2類感染症	結核	61例(3)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	17例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	1例	レジオネラ症	2例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	18例	梅毒	1例
	播種性クリプトコックス症	2例(1)	百日咳	49例(10)		

()内は今週届出分、再掲